



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月30日

上場会社名 カシオ計算機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6952 URL <https://casio.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樫尾 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務統轄部長 (氏名) 高野 晋

TEL 03-5334-4852

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	219,459	0.5	25,282	12.6	24,895	13.8	19,199	13.1
2019年3月期第3四半期	218,271	5.7	22,459	3.4	21,877	5.9	16,976	14.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 16,760百万円 (13.9%) 2019年3月期第3四半期 14,716百万円 (23.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	78.76	
2019年3月期第3四半期	68.92	67.56

(注)2020年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	346,344	212,424	61.3
2019年3月期	357,530	211,594	59.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 212,424百万円 2019年3月期 211,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		25.00	45.00
2020年3月期		22.50			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2020年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	4.0	31,500	4.1	31,000	3.7	22,500	1.6	92.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P.7「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	259,020,914 株	2019年3月期	259,020,914 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	16,451,891 株	2019年3月期	12,699,990 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	243,766,309 株	2019年3月期3Q	246,323,502 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における内外経済は、日本では消費増税影響による個人消費の低迷により先行き不透明感が高まりました。海外でも、米中貿易摩擦の影響、中東情勢の地政学リスクへの懸念等により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

この環境下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.5%増の2,194億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが1,924億円、システムが227億円、その他が41億円となりました。

時計は「G-SHOCK」のフルメタル『GMW-B5000』の好調に加え、200ドル台のGメタル新製品『GM-5600』などのラインアップ拡大により、グローバルで「G-SHOCK」のメタルが好調に推移しました。また、中国ではEコマースの独身の日セールが非常に好調で、「G-SHOCK」が大幅に拡大しました。また、新製品の超薄型モデル「OCEANUS」の『OCW-S5000D』や「EDIFICE」の『EQB-1000』など独自の差別化を図った製品が好調に推移しました。楽器はSlim&Smartモデルの好調により大幅な増収となりました。システムはプロジェクターが市場環境激化、教育ソリューション（ES）シリーズの浸透遅れにより減収となりました。

損益につきましては、営業利益はコンシューマが325億円、システムが△16億円、その他が1億円、調整額が△57億円で前年同期比12.6%増の252億円となりました。

時計は「G-SHOCK」の好調により、高収益性を維持、楽器はSlim&Smartモデルの拡大により収益体質が改善、システムは主にプロジェクターが赤字となりました。

また、経常利益は248億円（対前年同期比13.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は191億円（対前年同期比13.1%増）、1株当たり四半期純利益（EPS）は78円76銭と改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末比111億円減少の3,463億円となりました。純資産は、前連結会計年度末比8億円増加の2,124億円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.1ポイント増の61.3%に改善されました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的かつ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2020年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（2019年11月7日公表）に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を生かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

(注) 業績見通しについて

①為替水準は1US\$=108円、1ユーロ=118円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,714	86,630
受取手形及び売掛金	44,141	34,632
有価証券	50,000	48,000
製品	39,061	36,678
仕掛品	5,836	6,297
原材料及び貯蔵品	9,377	10,529
その他	17,043	6,506
貸倒引当金	△556	△534
流動資産合計	238,616	228,738
固定資産		
有形固定資産		
土地	33,564	33,562
その他(純額)	23,241	26,400
有形固定資産合計	56,805	59,962
無形固定資産		
無形固定資産	8,978	8,912
投資その他の資産		
投資有価証券	30,630	27,292
退職給付に係る資産	11,414	12,022
その他	11,153	9,483
貸倒引当金	△66	△65
投資その他の資産合計	53,131	48,732
固定資産合計	118,914	117,606
資産合計	357,530	346,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,522	24,760
短期借入金	232	180
1年内償還予定の新株予約権付社債	10,003	—
未払法人税等	3,584	3,376
製品保証引当金	781	774
事業構造改善引当金	212	208
その他	39,429	35,200
流動負債合計	82,763	64,498
固定負債		
長期借入金	58,988	62,931
事業構造改善引当金	1,020	1,020
退職給付に係る負債	578	569
その他	2,587	4,902
固定負債合計	63,173	69,422
負債合計	145,936	133,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,058	65,042
利益剰余金	111,757	119,958
自己株式	△19,956	△24,872
株主資本合計	205,451	208,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,246	7,140
為替換算調整勘定	△4,178	△5,242
退職給付に係る調整累計額	2,075	1,806
その他の包括利益累計額合計	6,143	3,704
純資産合計	211,594	212,424
負債純資産合計	357,530	346,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	218,271	219,459
売上原価	121,587	123,375
売上総利益	96,684	96,084
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	25,344	24,292
その他	48,881	46,510
販売費及び一般管理費合計	74,225	70,802
営業利益	22,459	25,282
営業外収益		
受取利息	454	564
その他	515	363
営業外収益合計	969	927
営業外費用		
為替差損	1,036	763
その他	515	551
営業外費用合計	1,551	1,314
経常利益	21,877	24,895
特別利益		
固定資産売却益	5	12
投資有価証券売却益	289	2,993
補助金収入	50	—
特別利益合計	344	3,005
特別損失		
固定資産除却損	60	70
競争法関連損失	—	505
役員特別功労金	—	200
特別損失合計	60	775
税金等調整前四半期純利益	22,161	27,125
法人税等	5,185	7,926
四半期純利益	16,976	19,199
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,976	19,199

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	16,976	19,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,943	△1,106
為替換算調整勘定	△522	△1,064
退職給付に係る調整額	205	△269
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△2,260	△2,439
四半期包括利益	14,716	16,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,716	16,760
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月3日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,000百万円増加しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。なお、利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が3,847百万円増加し、流動負債の「その他」が1,447百万円及び固定負債の「その他」が2,487百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	187,824	25,052	5,395	218,271	—	218,271
(2) セグメント間の内部 売上高	4	88	4,783	4,875	△4,875	—
計	187,828	25,140	10,178	223,146	△4,875	218,271
セグメント利益 又は損失(△)	28,658	△821	301	28,138	△5,679	22,459

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,679百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,679百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	192,497	22,786	4,176	219,459	—	219,459
(2) セグメント間の内部 売上高	0	31	5,948	5,979	△5,979	—
計	192,497	22,817	10,124	225,438	△5,979	219,459
セグメント利益 又は損失(△)	32,500	△1,699	196	30,997	△5,715	25,282

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,715百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,715百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。